

## 低廉な検温装置の実現可能性を検証

# 入構者を顔で自動検知し、 高温の方にお知らせします

### 背景・目的

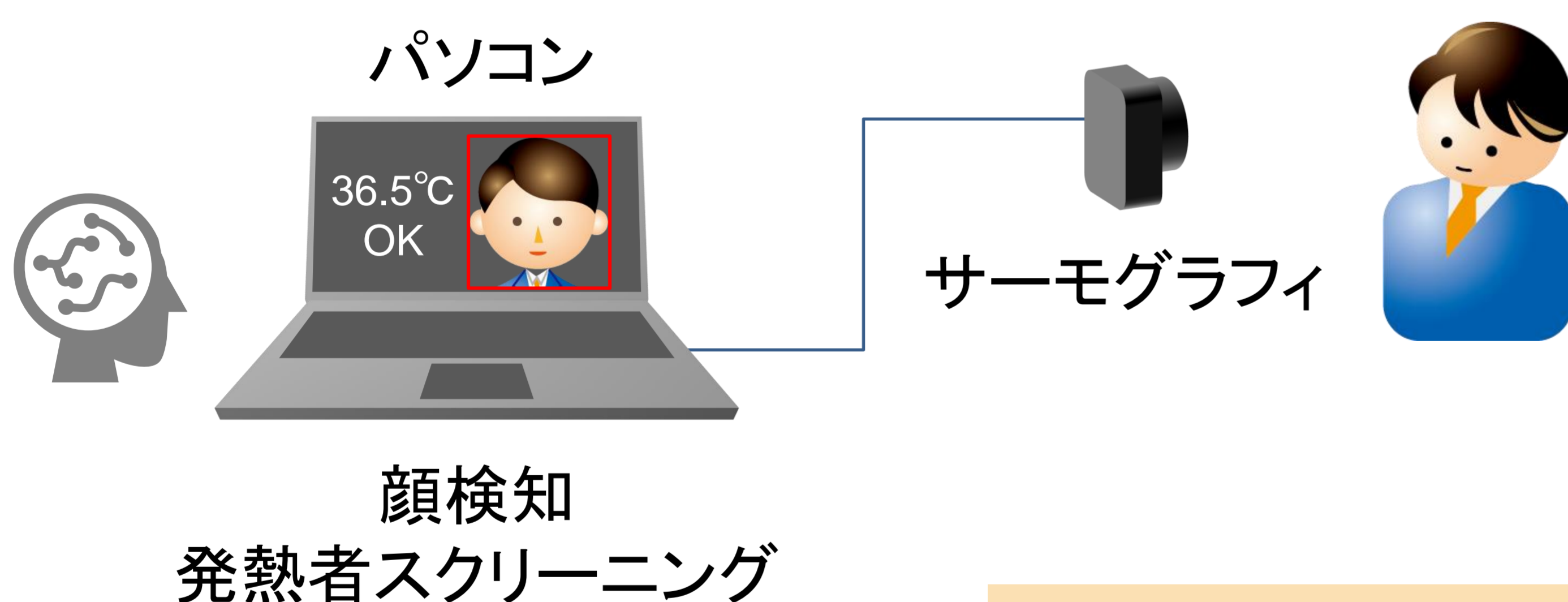
- 新型コロナウイルス感染拡大を受け、さまざまな対策技術が上市されています。例えば、サーモグラフィとAIを活用して入構者の体温を安全かつ簡易に検温し、発熱者のスクリーニングに寄与する技術があります。
- しかし、市販の検温システムは高価であるため、複数箇所への導入には、低廉化が求められます。

### 特長

- アプリの内製化による低廉な入構者検温システムの実現可能性を検証しています。
- カメラで得られる熱画像と可視画像を用いて入構者を顔で自動検知し、顔の表面温度の計測値から体温を推定して、高温の方にはお知らせします。

### 用途

- 低廉なシステムの実現可能性が高い場合は、当社グループの新型コロナウイルス感染防止策や、お客さま提案アイテムとして活用します。

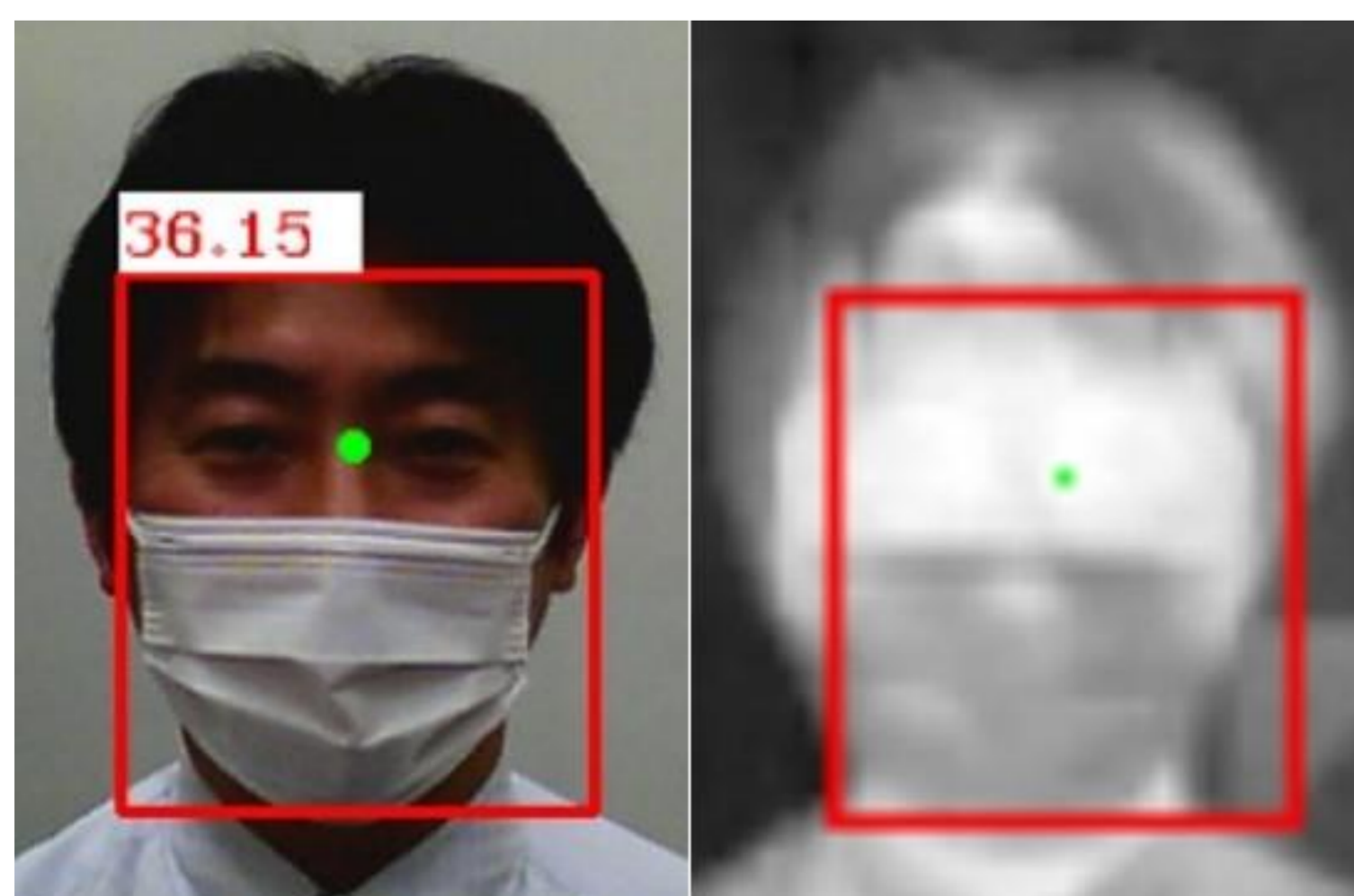


### 低廉化の工夫

公開情報(サーモグラフィメーカーのSDKや顔検知モデル)を活用し、アプリを内製化

### システムの動作

- サーモグラフィから可視画像と熱画像を取得
- 画像解析により可視画像に映る顔を自動検出(入構者検知)
- 検出した顔の領域の表面温度を熱画像から得る
- 表面温度から体温を推定
- 体温推定値が高温の場合はお知らせ



**注意) 本システムは医療機器ではないため、医療・診察では利用できません。**